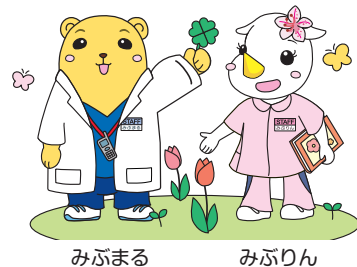


やすらぎ

2023・4

春



がん医療連携センターを新設しました ～チームでがん医療を支えます～



地方独立行政法人 京都市立病院機構
京都市立病院

この「やすらぎ」は、
ホームページでも
見ることができます！



がん医療連携センターを新設しました



当院では、患者さんとそのご家族が安心してがん医療を受けていただくことを目的として治療・看護・相談支援・地域連携を総合的に提供するセンター機能を組織しました。シームレス[※]ながん医療をスローガンとして患者さんが自分らしく過ごせるようながん医療を目指してまいります。

※切れ目のない



京都市立病院
がん医療連携センター長
宮原 亮

がんのこと何でも相談してください がん相談支援

「がん相談支援センター」では、患者さんが安心してご相談いただける窓口としてがん専門相談員（看護師、社会福祉士）がお話を伺い、気持ちや情報の整理をお手伝いし、解決の糸口を一緒に考えていきます。



～相談を希望される方～

相談をご希望される方は本館1F がん相談支援センターまでお越しください。

相談時間 月曜日～金曜日、9:00～16:00

相談料 無料

連絡先 075-311-5311 (代)



がん医療連携センター
がん医療連携推進担当課長
松村 優子

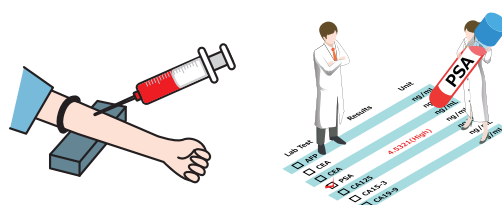
～チームでがん医療を支えます～

診断・検査

問 診



血液検査（腫瘍マーカー）



血液検査

腫瘍マーカー

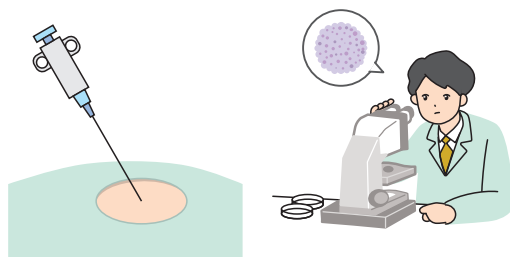
画像検査



PET-CT

その他、
X線検査
超音波検査
MRI検査
内視鏡検査
など

生体検査



がん3大療法

手術療法

がんに侵された病巣を体から取り除く代表的な局所療法。

放射線療法

がんの病巣部に体内や体外から放射線を照射し、がん細胞を攻撃する局所療法。

薬物療法

飲み薬や注射薬を用いてがん細胞を死滅させたり、がん細胞が増えるのを抑えたりする治療法。

緩和ケア 栄養サポート

手術

手術療法は、メスでがん組織を切り取ってしまう治療法です。

この療法は、完全に切除できれば体内からがんを消すことができ、最も直接的かつ根治の可能性が高いことです。それぞれの患者さんにとってどのような手術が最適かを評価するために、手術の前にはさまざまな検査を行い、多くのスタッフで相談して術式(外科手術の方法)を検討しています。



総合外科部長
秦 浩一郎



消化器外科部長
松尾 宏一



乳腺外科部長
森口 喜生



呼吸器外科部長
宮原 亮



脳神経外科部長
地藤 純哉



皮膚科部長
竹中 秀也



泌尿器科部長
清川 岳彦



産婦人科部長
小芝 明美



耳鼻いんこう科部長
豊田 健一郎

ロボット支援下 内視鏡手術 (da Vinci)

ロボット支援下 内視鏡手術(ダヴィンチ手術)は患者さんの負担が少ない腹腔鏡手術と同じようにいくつかの小さな切開部を作り、外科医の操作に従って内視鏡・メスなどを動かして行う内視鏡手術です。

当院では、手術支援ロボット「ダヴィンチ エックスアイ(da Vinci Xi)」や4K・3Dの内視鏡システムを導入し、なるべく小さな傷ですむ手術を行うようにしています。

また、より安全に手術を実施するため、症例によっては複数の科での合同手術を行っており、手術前にCT検査で撮影した画像を3D構築し、手術中に確認しています。手術後にも麻酔科の先生を中心としたラウンド(巡回)を実施しており、鎮痛についても十分な体制をとっています。



内視鏡手術

内視鏡的治療とは、お腹にメスを入れることなく、内視鏡(胃カメラ、大腸カメラ、膀胱カメラなど)を使って食道や胃、腸、膀胱などの粘膜層にできた病変を切除する治療のことです。



開腹手術・開胸手術

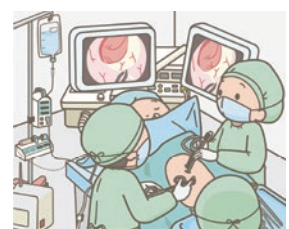
開腹手術や開胸手術とは、手術する部位を直接目で見てがんを取り除く手術方法のことです。腹壁や胸壁を切開し、腹腔を開放する治療です。



腹腔鏡・胸腔鏡手術

腹腔鏡・胸腔鏡とは、お腹に数か所の小さな穴をあけて行う手術です。

切開創から、細長いカメラと手術器具を挿入し、モニターに映る中の様子を見ながら行う手術です。



がん薬物療法



腫瘍内科部長
桐島 寿彦



がん薬物療法とは、お薬を使用し、がんを治したり、再発を抑えて治療効果を高めたり、進行抑制やがんにより生じる症状を和らげるために行います。

化学療法	化学療法剤（抗がん剤、化学物質）を使ってがん細胞の増殖を抑えたり、転移や再発を防ぐ治療法。
内分泌療法 （ホルモン療法）	がんの増殖を促進するホルモンの分泌や働きを妨げる薬を用いてがんの増殖を抑える治療法。
分子標的療法	がん細胞の増殖に関わる特定の分子（タンパク質や遺伝子）を狙い撃ちしてがんの増殖を抑える治療法。
免疫療法	人間のもつ自然治癒力（＝免疫力）を強化して病気を治療する方法。

治療の際には、これらの薬剤を単独あるいは複数組み合わせ使用しており、一般的な薬剤よりも副作用が出やすい傾向にあります。当院では、「支持療法」（副作用の症状を軽くするための予防、治療、およびケア）を行っています。



遺伝診療部部长
藤原 葉一郎

がんゲノム医療

がんゲノム医療とは、がんの組織を用いて多数の遺伝子を同時に調べ、遺伝子変異を明らかにすることにより、一人一人の体質や病状に合わせて行う治療です。

当院は、2018年10月に「がんゲノム医療連携病院」の指定を受けており、遺伝子パネル検査を行いそのがんにあった治療の可能性を探索しています。



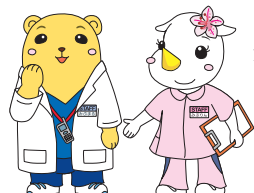
放射線治療



放射線治療科部長
大津 修二

放射線治療は、がんの根治を目指す根治照射から心や体のつらさを和らげる緩和を目的とした治療まで、がんの種類や患者さんの状態に応じて用いられます。体への負担が少なく、切除することもないため、機能や形態の温存（残すこと）が図れ、副作用が少なく高齢者などにも行いやすい治療法です。

当院では、外部照射装置（リニアック）2台と小線源治療装置を保有しています。



がんの種類によっては、働きながら治療を受けることができる就労支援も行っています。



緩和ケア科部長
大西 佳子

緩和ケア

がんと診断されたとき
から受けられます

緩和ケアでは、さまざまな専門スタッフがあなたと共にからだの不快な症状、こころの苦しみをやわらげ、より豊かな人生をおくることができるように、病気の時期に関わらず、治療と並行してケアを受けることができます。

緩和ケアでは、さまざまな専門スタッフがあなたと共にからだの不快な症状、こころの苦しみをやわらげ、より豊かな人生をおくることができるように、病気の時期に関わらず、治療と並行してケアを受けることができます。



緩和ケアチーム

緩和ケア外来

- ◆ 身体症状：痛み、吐き気、息のしんどさ等
- ◆ 精神症状：不安、不眠、うつ、せん妄等
- ◆ その他のつらい症状を対象としています。

緩和ケア病棟

- ◆ つらい症状を和らげる（症状緩和）
- ◆ ご自宅に帰るための退院調整（在宅移行支援）
- ◆ 人生最期の時間を穏やかに過ごす（看取り）
- ◆ 介護者の休養（レスパイト入院）を行っています。



看護専門外来（がん関連）



専門的な知識を持った専門看護師、認定看護師、学会などの指定研修を受けた看護師が、ライフステージに応じて、患者さんやそのご家族の健康管理や病気に関する情報提供を行うとともに、不安や悩みの相談に応じます。がん患者の方などが、在宅療養を継続するためのセルフケアの支援を目的とした外来です。



乳がん看護外来

フットケア
外来



リンパ浮腫外来



ストーマ外来



がんカウンセリング外来



放射線療法
看護外来



造血幹細胞移植後
長期フォローアップ外来
（成人・小児）

がんリハビリテーション



リハビリテーション科

がん患者さんの生活機能や生活の質（quality of life; QOL）の改善に向けて「がんリハビリテーションの研修」を修了したスタッフが医師、看護師、医療相談員など専門職と連携し、チームでサポートしています。





栄養管理係長
植木 明

栄養相談

がんの治療を支えていくためには、食事で栄養を摂取して体力を保つことが大切です。当院では患者さんの食事の悩みに対して管理栄養士が病室を訪問し、食べやすい食事の紹介や、患者さんの症状に合わせた食事の調整を行っています。

症状別食事のポイント

① 食欲がないとき



焼鮭



卵焼き



冷奴



ヨーグルト

② 下痢や便秘があるとき



ヨーグルト



乳酸菌飲料

③ 吐き気・おう吐があるとき



ゼリー



具なしの野菜スープ



スポーツ飲料

④ 口内炎・食道炎・のどの痛み



雑炊



アイスクリーム



グラタン
(冷まして食べましょう)



化学療法（抗がん剤治療）や放射線治療で外来に通院中の患者さんにも栄養アドバイスを行っています（詳細はQRコードから）

『がん患者さんとご家族のための食事のヒント』



退院後ケア・地域との連携（在宅医療・施設でのケア）



外来受診から入院、退院までの療養を一貫してサポートできるよう、入院前から退院後を見据えた療養先の決定、在宅環境の調整や関係機関との連携を行います。



かかりつけ医等との連携

地域がん連携パス手帳を用いて、かかりつけ医と専門医がきめ細かい診療情報を共有していきます。

がんの地域連携手帳
(京都府統一版)
について



在宅医療チームとの連携

在宅医や訪問看護師、介護支援専門員などの在宅チームと密な連携を図りながら、療養生活を支えます。



医療機関や施設等との連携

継続して療養が必要な場合には、患者さんに適切な転院先や施設との連携を行います。





健診センターからのお知らせ



4～5月の間、全額自己負担で人間ドックを受診される方を対象に、料金が以下のとおり変更となります。この機会にぜひ受診をご検討ください。

4～5月 **31,150円(税込)** (喀痰検査なし、お食事券付)

(参考) 6～3月 通常料金 43,030円(税込)

※ペア割もあります。詳細はこちら (<https://www.kch-org.jp/patient/dock>)



令和5年度 京都市立病院 ミニ市民公開講座開催のご案内

ミニ市民公開講座を下記のスケジュールで開催しています。講演終了後に質疑応答の時間もありますので、**血液がん**について知りたい方、日ごろ体調について疑問などをお持ちの方は、ぜひお越しください。

【テーマ】よくわかる「血液がん・血液良性疾患」とその治療 ～早期発見・病気とうまくつきあっていくために～

- 第1回: 令和5年 5月13日(土) 「血液がんと検査」
- 第2回: 令和5年 7月 8日(土) 「原因の明らかな血液がん」
- 第3回: 令和5年 9月 9日(土) 「若者に多い血液がん」
- 第4回: 令和5年11月11日(土) 「輸血と造血幹細胞移植」
- 第5回: 令和6年 1月13日(土) 「血が少なくなる病気:自己免疫との関わり」
- 第6回: 令和6年 3月 9日(土) 「血が多くなりすぎる病気:骨髄増殖性腫瘍」

- 公式 YouTube チャンネルにて順次公開予定です
<https://www.youtube.com/user/KCHorg1>



- **会場** 京都経済センター3階会議室
京都市下京区四条通室町東入
函谷鉾町78番地
- **時間** 10:30～11:30
- **申込不要**
- **参加無料**

みなさんは非
お越しください！



第1回講演医師
松井 道志

京都市立病院 無料送迎バス

ぜひお気軽にご利用ください

時間	京都市立病院 ～出発～	阪急西院駅 (旧TSUTAYA前)	京都市立病院 ～到着～
8時	40	45	50
9時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
10時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
11時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
12時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
13時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
14時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
15時	00 20 40	05 25 45	10 30 50
16時	00 20 40	05 25 45	10 30 50

※平日のみ(土日祝日、年末年始等の休診日は運休)

敷地内全面禁煙



路上喫煙はやめましょう！
喫煙はマナーを守って決められた場所です。



ご意見募集中!

「やすらぎ」春号を最後までお読みいただきありがとうございました。当院では、「やすらぎ」に関するご意見を当院ホームページにて募集しています。右のQRコードを読み取りのうえ、ご意見・ご感想等を記入し送信してください。いただいたご意見は、今後の紙面の充実の参考とさせていただきます。



やすらぎ 2023・春号 令和5年4月21日発行

発行: 京都市立病院機構 京都市立病院

〒604-8845

京都市中京区壬生東高田町1番地の2

TEL 075-311-5311

FAX 075-321-6025

